

新任研修自己評価表

所属 県・市町村
職種 事務職・専門職
配属分野 保健・福祉・衛生
所属圏域 県北・県中・県南
会津・南会津・相双・いわき

※ 受講後、A～Bのうち該当するものを選んで○を記入する。

A：達成できている B：おおむね達成できている C：達成できていない

【研修項目別の目標に対する評価】

テーマ1 地域保健福祉総論（1日目）

【一般目標】

福島県の保健福祉行政を理解し、公衆衛生の向上及び福祉社会の推進を図るために、保健福祉関係職員として相互に連携しながら、期待される役割を果たすために必要な知識を修得する。

- | | | | |
|---|---|---|---|
| (1) 地域保健福祉の基本的な考え方を理解する。 | A | B | C |
| (2) 「めざす将来の姿」を実現するため、6つの基本目標を定めて推進していることを理解する。 | A | B | C |
| (3) 「めざす将来の姿」を実現するため、県、市町村に期待される役割について説明できる。 | A | B | C |
| (4) 県民に対し質の高いサービスを提供するため、多様な主体が連携、協働することの重要性について、例を挙げて説明できる。 | A | B | C |
| (5) 福島県は、東日本大震災や原子力災害を克服し、全国に誇れる水準の保健・医療・福祉により、将来の本県社会が支えられるよう、目指していることを理解する。 | A | B | C |

テーマ2 健康長寿の県づくり（1日目）

【一般目標】

ヘルスプロモーションの理念に基づいた健康づくり運動を理解し、県民、職域、地域が一体となった生活習慣病予防と地域における健康づくり活動を実践するために必要な知識を修得する。

- | | | | |
|---|---|---|---|
| (1) 「第二次健康ふくしま21」計画を理解する。 | A | B | C |
| (2) 県民の健康に関する最大の課題である生活習慣病対策を理解する。 | A | B | C |
| (3) 生涯にわたる健康づくり推進における県、市町村、職域、学校保健など関係機関の役割及び連携の必要性について説明できる。 | A | B | C |

テーマ3 地域医療の再生（1日目）

【一般目標】

少子高齢社会の進行に伴う疾病構造の変化や高度化、多様化する県民のニーズに対応するため、良質な医療を提供する体制整備が図られていることを理解する。

- | | | | |
|--|---|---|---|
| (1) 福島県の医療提供体制を理解する。 | A | B | C |
| (2) 東日本大震災後の地域医療について、県、市町村に期待される役割について説明できる。 | A | B | C |
| (3) 東日本大震災後の地域医療について、復旧・復興のための取り組みを理解し、例を挙げて説明できる。 | A | B | C |

テーマ4 安全で安心できる生活の確保（1日目）

【一般目標】

誰もが安全で安心して生活できる、人に優しい生活環境づくりを推進するために必要な知識を修得する。

- | | | | |
|---|---|---|---|
| (1) 東日本大震災後の「食の安全」にかかる現状と課題を理解する。 | A | B | C |
| (2) 関係者が連携・協働しながら、生産から流通、消費に至る一貫した食品安全確保対策を推進していることを理解する。 | A | B | C |

テーマ5-1 保健福祉行政職員として必要な知識・技術 「面接技術の基本」（1日目）

【一般目標】

相談者に配慮しながら、各種社会資源を活用し適正な対応ができる技能を身につける。

- | | | | |
|--|---|---|---|
| (1) 相談を受ける際の心構えや進め方が理解できる。
(カウンセリング・マインド) | A | B | C |
| (2) 相談者の気持ちや立場に配慮した説明ができる。
(カウンセリング・プロセス) | A | B | C |

テーマ6-1 ともにいきいき暮らせる福祉社会

「高齢者保健福祉の推進と介護保険制度のポイント」（1日目）

【一般目標】

高齢者が社会的な役割を持ち、健康で自立した生活を続けられるような環境づくりやたとえ介護を必要とする状態となっても、その人らしい生活を送れるよう各種制度やサービスを活用して適切な支援ができるための知識を修得する。

- | | | | |
|--|---|---|---|
| (1) 高齢者の保健・医療・福祉をめぐる現状と課題を理解する。 | A | B | C |
| (2) 高齢者に関する保健福祉制度・介護保険制度を理解する。 | A | B | C |
| (3) 高齢者の保健・医療・福祉を取巻く県、市町村等関係機関の役割を説明できる。 | A | B | C |
| (4) 質の高いサービスを提供するためには関係機関の連携が重要であることを例を挙げて説明できる。 | A | B | C |

テーマ6-1 ともにいきいき暮らせる福祉社会

「地域福祉の推進」、「生活保護の現状と課題」 (1日目)

【一般目標】

誰もが地域で安心して生活できるために、ノーマライゼーションの理念を理解し、住民参加による福祉のまちづくりを実践するために必要な知識を修得する。

- | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---|
| (1) 福祉社会の推進のために行政、民間が果たすべき役割を理解する。 | A | B | C |
| (2) 生活保護を必要とする人への支援をめぐる現状と課題について理解する。 | A | B | C |
| (3) 県、市町村の果たすべき役割、連携・協働の必要性を説明できる。 | A | B | C |

テーマ5-2 保健福祉行政職員として必要な知識・技術

「放射線と健康について」(2日目)

【一般目標】

復興へ向けた心身の健康管理対策を推進するために必要な知識を修得する。

- | | | | |
|------------------------|---|---|---|
| (1) 「放射線と健康について」理解する。 | A | B | C |
| (2) 支援する上で心掛ける点を説明できる。 | A | B | C |

テーマ5-3 保健福祉行政職員として必要な知識・技術

「住民、関係機関と行政の協働の実際」(2日目)

【一般目標】

関係機関・団体と連携、協働することの必要性・重要性について理解する。

- | | | | |
|---------------------------------|---|---|---|
| (1) 「住民、関係機関と行政の協働の実際」について理解する。 | A | B | C |
| (2) 官民協働の取り組みを進める上でのポイントを理解できる。 | A | B | C |

テーマ6-2 ともにいきいき暮らせる福祉社会 「障がい者保健福祉の推進」(2日目)

【一般目標】

ノーマライゼーションの理念に基づき、障がい児者が個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、保健・医療・福祉にわたる総合的な支援ができるための知識を修得する。

- | | | | |
|--|---|---|---|
| (1) 障がい者の保健・医療・福祉をめぐる現状と課題を理解する。 | A | B | C |
| (2) 障がい者に関する保健福祉制度を理解する。 | A | B | C |
| (3) 障がい者の保健・医療・福祉を取巻く県、市町村等関係機関の役割を説明できる。 | A | B | C |
| (4) 質の高いサービスを提供するためには関係機関の連携が重要であることを例を挙げて説明できる。 | A | B | C |

テーマ7 安心して子どもを産み育てられる環境づくり
「少子化対策」「児童虐待・DV対策」(2日目)

【一般目標】

安心して子どもを産み、楽しんで育てることができ、生まれてきた子どもが健やかに育つための環境づくりを推進するために必要な知識を修得する。

- | | | | |
|--|---|---|---|
| (1) 福島県の少子化の現状を理解する。 | A | B | C |
| (2) 県内の次世代育成支援対策の取組状況について理解する。 | A | B | C |
| (3) 次世代育成支援対策における県や市町村の役割について説明できる。 | A | B | C |
| (4) 児童虐待及びDVの予防から発生時の対応に関する県や市町村の役割について説明できる。 | A | B | C |
| (5) 生まれてきた子どもが健やかに育つために関係機関の連携が重要なことを例を挙げて説明できる。 | A | B | C |

【研修全体の評価】 (2日間を通して)

【一般目標】

保健・医療・福祉各分野の基礎的な知識や共通の課題に関する知識を修得し、相互に連携しながら、保健福祉行政職員として期待される役割を果たすことができる能力を身につける。

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1 法令を踏まえた地域保健福祉活動を理解する。 | A | B | C |
| 2 福島県の保健・医療・福祉政策を理解する。 | A | B | C |
| 3 県民の保健福祉向上のため、県、市町村に期待されている役割について説明できる。 | A | B | C |
| 4 関係機関・団体と連携、協働することの必要性・重要性について説明できる。 | A | B | C |
| 5 面接やケースワークで住民の気持ちや立場に配慮することができる。 | A | B | C |
| 6 保健福祉行政職員として期待される役割について説明できる。 | A | B | C |
| 7 東日本大震災からの復旧・復興施策を理解する。 | A | B | C |

新任研修の企画に関する評価

A：充分満足できる B：満足できる C：不満である

1 研修開催時期、日程等について

- | | | | |
|------------------------|---|---|---|
| (1) 研修会場は適当でしたか。 | A | B | C |
| (2) 研修開催時期は適当でしたか。 | A | B | C |
| (3) 研修の日程（2日間）は適当でしたか。 | A | B | C |

自由記載 _____

2 保健・医療・福祉をめぐる社会情勢などから必要と考えられるテーマについて

- | | | | |
|-------------------------------------|---|---|---|
| (1) テーマの選定は適当でしたか。 | A | B | C |
| (2) 講師の選定は適当でしたか。 | A | B | C |
| (3) 新任職員に聞かせてみたいテーマ、講師がいれば記載してください。 | | | |

自由記載 _____

《その他》

自由記載 _____
